

R5 年度 学校教育に関するアンケートの結果と考察

茨木市立中条小学校

1.はじめに

冬季休業中に今後の学校教育活動改善のための資料の一つとするため、各家庭にアンケートのご協力をお願いいたしました。ご協力いただきありがとうございました。

昨年度より Microsoft Forms を使って家庭数回答で実施しております。

回答数は 636 家庭 回答率は 636/767 約83%でした。

2.集計結果 ※単位％ 未回答、データ処理の関係で合計が 100%にならないこともあります。

アンケート項目		分類	令和5年度		令和4年度	
			肯定的 評価	否定的 評価	肯定的 評価	否定的 評価
1	学校は教育方針を分かりやすく伝えている。	A	91.3	8.7	91.9	8.1
2	学校はお子様のことについての連絡をきめ細やかにおこなったり、保護者の相談に適切に応じている。	A	89.8	10.2	91.2	8.8
3	学校の様子をたよりやHPなどによって良く知ることができる。	A	95.4	4.6	92.6	7.4
4	学校は学力向上を目指した取組みをすすめている。	B	84.9	15.1	84.8	15.2
5	学校は教育活動を通して、人権尊重の意識を育てようとしている。	B	92.6	7.4	92.7	6.9
6	学校は教育活動を通して、命を大切に作る心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	B	96.1	3.9	95.2	4.8
7	学校はいじめをゆるさない集団を作ることに取組んでいる。	B	87.0	13.0	89.2	10.8
8	先生は子どものことをよく理解してくれている。	C	90.9	9.1	89.7	10.1
9	先生は子どものことについての相談に適切に応じてくれている。	C	91.2	8.8	92.6	7.3
10	学校は子どもの達成度・評価をあゆみ(通知表)や個人懇談等を通して適切に伝えている。	C	92.0	8.0	91.2	8.6
11	地震・台風その他災害等についてのマニュアルや情報が知らされ、どのように行動したら良いかがわかる。	A	85.8	14.2	92.0	7.9
12	子どもは学校生活を楽しんでいる。	D	95.8	4.2	95.2	4.8
13	子どもは学習内容が理解できている。	D	92.9	7.1	93.7	6.3
14	子どもには一緒に遊んだり、相談したりする友だちがいる。	D	94.8	5.2	93.8	6.2
平均			91.5	8.5	91.8	8.1

3.考察

一昨年度よりアンケートをデジタル化し、保護者の皆様に児童用タブレットからご回答いただいております。児童もタブレットにもずいぶん慣れ、上手に使いこなせるようになってきています。しかしながら、上手に使いこなしているからこそ、ルールを守って正しく使うことが何よりも大切なことだと考えております。これからも、保護者の方々に児童が使っているタブレットでログインし、使用していただくことがネットリテラシーの観点からも必要であると考えております。今後も回答される保護者の方も簡単に答えられ、かつ集計作業も短時間で行えるよう、アンケートはデジタルで実施し、保護者の方に児童用タブレットを使っていただける機会を可能な限り設けたいと考えております。

また、今年の回答率は約83%でした。昨年度の回答率約93%と比べると10%も減少しています。今年は児童の端末タブレットを使ってもらいやすい時期にと考え、冬休み中に実施しました。また、これまでの反省を生かして、「希望

家庭には紙媒体での回答も可能とする」「締め切り間際にメール等で再度お知らせする」等の対策もしていましたが、昨年度より大幅に回答率が下がってしまいました。次年度の実施にあたっては、時期と期間を再考し実施してみようと考えております。

A 学校の教育方針や全般にかかわること

A の観点では肯定的評価(「よくあてはまる」「ややあてはまる」)の割合が約 91%と高評価を受けております。これは昨年度と比べてほとんど変わりありません。

とりわけ「学校の様子を…良く知ることができる」の項目は前年度割合と比べ3%近くも上昇しています。これまで同様、見やすく、わかりやすいホームページを心掛けたこと、また、配布する手紙の一部のペーパーレス化を継続して行っていることにより、確実に保護者の方々が目にできるようになっていること。また、ミマモルメメールの配信により保護者の方々への周知が確実にできていると考えております。

余談になりますが、1月から新しいホームページにかわりました。旧ホームページの最後の WEB 日記に記しておりますが、旧 WEB 日記は1日平均約500人の方が見ている計算になりました。新ホームページも早々に1万人を超えました。茨木市の中でも群を抜いて閲覧者数が多いホームページとなりました。これは皆さんが本校の様々な取り組みに関して興味を持っていただき、毎日のようにホームページをご覧いただいている結果だと考えております。

これからも、引き続き、学校の様子を少しでも多く伝えられるように情報発信をしていきます。

B 学校の具体的な取組みについて

B の観点も肯定的評価平均の割合が90%を上回っていました。とりわけ「命を大切に作る心…」は前年度と比べると約1%上がり96%に達しました。しかしながら、依然として「学力向上を目指した取り組み」「いじめをゆるさない」ことに関する肯定的意見は90%を下回っており、全体的な肯定的評価の割合は高いものの、課題点としてあげられる結果となりました。また、「いじめをゆるさない…」の項目に関しましては前年度より2%以上も減少しています。

いじめに関しては、いじめアンケートを年に3回実施し、その都度、気になる点について担任等から聞き取りをしています。また、ホームページにも掲載しております「いじめ基本方針」に基づいて「いじめはどの学校でも、どの子にも起こりうるものである」という認識のもと、いじめを見逃さない目を日々養い、子どもたちが相談しやすい環境づくりにも尽力していきたいと考えております。

教職員一同、各教科の指導力向上はもちろん豊かな人権感覚を身につけ、人権教育のさらなる推進など、研鑽を重ねてまいります。

C 評価や教職員にかかわること

C の観点については、肯定的評価の平均が約 91%でした。これについても、昨年度と変化はありませんが、日頃から子どもたちの様子をしっかりと見て、子どもたちの話をしっかりと聞く教職員の姿勢や、子どもたちのためにできることを絶えず考えて教育活動を行っている姿を肯定的に評価して下さったのだと受け止めています。

しかしながら「相談に適切に応じてくれている」の項目については前年度より約1%減少しています。わずかな減少ではありますが、このことを真摯に受け止め、今後も今まで以上に信頼される教職員集団でありたいと考えています。

D 子どもの受け取り方に関すること、友だち関係について

D の観点については、子どもたちの肯定的な受け取りの平均が94.5%と高い値となりました。しかしながら、まだ5.5%の児童は肯定的な受け取りができていません。「一人も見捨てへん教育」を遂行するためには、この5.5%の子どもたちにこそ、目を向けなければならないと考えます。「学校生活が楽しくない」「学習内容が理解できていない」「一緒に遊んだり、相談したりする友だちがいない」と感じている子どもが5.5%もいるという認識のもと、今後も子どもたち同士が対話し、つながりをもちながら学びを深めていける教育活動を推進していきたいと思ひます。

全体的にみて

アンケート全項目の肯定的評価の平均が91.5％ 否定的評価が8.5％という結果になりました。前年度と比べると、ごくわずかではありますが、肯定的評価が減少しております。しかしながら、多くの保護者の方々から、本校の教育活動に関して前向きにご理解いただいていると感謝しております。今後も子どもたち、保護者の方々の思いを大切にしながら、安心して通える、また、安心して通わせられる中条小学校であり続けたいと思っています。

保護者の皆様の貴重なご意見ありがとうございました。

行事への参加割合について

今回のアンケート調査では、コロナ明けの学校行事、および地域行事の参加割合についても回答いただきました。

細かくはお知らせしませんが、夏祭りは約 75％、餅つき大会は約 60％、地区体育祭には約 50％の児童が参加している結果になりました。

また、来られた方の内訳にもご回答いただいております。このデータについては今後の行事運営の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。